

対象者が実際に行っている日常生活について、あてはまる状態を表す数字に○をつけて下さい。

※「見守り」や「声かけ」は「最小限の介助が必要」となります。

※日常行われているご様子で採点してください。

整容動作

5 自立	手洗い、洗顔、髪をとく、歯磨き、髭剃り、化粧が可能 男性の場合は手助けなしで引き出しや棚からかみそりを探し出し、援助なく刃を扱ったりシェーバーを使ってひげを剃り、器具をもとに戻すことができる
4 最小限の介助が必要	女性の場合は習慣としての化粧が可能であるが、髪を結ったり整えられなくてもよい
3 ある程度の介助が必要	自分で整容を保つことができるが、実施の前後に最小限の手助けや見守りが必要
1 自分で試みるが大幅な介助が必要	整容をとりおこなううえで、1つ以上の段階で介助が必要
0 全介助	整容をとりおこなううえで、すべてに介助が必要
0 日常行わない・行う必要がない	すべて自分でできない

入浴動作（家庭浴槽 施設浴槽 訪問入浴 / 手すり 有 無 / 自宅入浴なし ）

5 自立	浴槽につかる、シャワーの使用、洗体など見守りなく全て自分でできる
4 最小限の介助が必要	安全な湯温の調節や移乗などの見守りが必要
3 ある程度の介助が必要	シャワーや浴槽への出入り、移動、洗体、洗髪、体を拭くなどのいずれかに介助が必要
1 自分で試みるが大幅な介助が必要	病気や日々の体調の変化によって、完全に動作できない場合も含む
0 全介助	入浴のすべてに介助が必要
0 日常行わない・行う必要がない	すべて自分でできない

食事動作

10 自立	必要に応じて自助具を使用し、自分で食物を切りほぐし、好みに応じて塩やコショウ、醤油、ソースをかけたり、バターを塗るなどの動作が自分ででき、配膳された食事を自分で採ることが可能 見守りを要しない
8 最小限の介助が必要	肉を切る、魚をほぐす、牛乳パックや瓶のふたを開けるなどを除いては、配膳されると自分ででき、見守りなどの他者の介助は不要
5 ある程度の介助が必要	見守りにて自分で食べることができるが、お茶を入れる、コーヒーや紅茶に砂糖やミルクを入れる、塩や胡椒をかける、バターを塗るなどの準備やお皿を動かすなどの介助が必要
2 自分で試みるが大幅な介助が必要	食食用自助具、箸やスプーン等を扱うことが可能だが、食事中誰かの積極的な介助が必要
0 全介助	すべて自分でできない
0 日常行わない・行う必要がない	

排泄動作（和式 洋式 / 手すり 有 無 ）

10 自立	自分でトイレに行くことができ、衣類を汚すことなく服の着脱や始末、紙の始末もできる
8 最小限の介助が必要	必要に応じてポータブルトイレや尿器使用の場合は、その始末や洗浄も自分でできる 見守りにて通常のトイレで安全に実施可能だが、夜間のポータブルトイレの使用や尿器の洗浄などに介助が必要
5 ある程度の介助が必要	服の上げ下げ、移乗、手洗いなどに介助が必要
2 自分で試みるが大幅な介助が必要	すべてに介助が必要
0 全介助	すべて自分でできない
0 日常行わない・行う必要がない	

階段昇降（手すり 有 無 ）

10 自立	見守りや介助なく安全に昇降が可能 必要に応じて手すり、杖等を使うことができ、昇降時に自分で動かすことが可能
8 最小限の介助が必要	通常は介助を必要としないが、時々（朝のこぼれや息切れがあるなど）安全のために見守りが必要
5 ある程度の介助が必要	自分で昇降できるが歩行器具（歩行器、杖など）を動かすことができない また、見守りや介助が必要
2 自分で試みるが大幅な介助が必要	歩行器具の介助を含めて、昇降には、すべて介助が必要
0 全介助	自分でできない
0 日常行わない・行う必要がない	

更衣動作

10 自立	ボタンを留める、靴ひもを結ぶなども含めて着衣・脱衣が自分でできる 必要に応じてコルセットや装具などの着脱ができる
8 最小限の介助が必要	ボタンを留める、ジッパーをあげる、靴を履く等の最小限の介助や見守りが必要
5 ある程度の介助が必要	服を着たり脱いだりするときに介助が必要
2 自分で試みるが大幅な介助が必要	いくらかは自分で試みるが、更衣の全行程で介助が必要
0 全介助	全てにおいて自分でできない
0 日常行わない・行う必要がない	

排便管理

10 自立	介助なく排便管理ができ、失敗することもない 必要に応じて座薬や浣腸を自分で使用できる
8 最小限の介助が必要	座薬や浣腸を見守りで使用できるが、時々失敗する
5 ある程度の介助が必要	適切な姿勢をとることはできるが、排便を容易にする技術に介助が必要 頻繁に失敗するために失禁用のパッドや介助を要し、清潔にするための介助が必要
2 自分で試みるが大幅な介助が必要	適切な姿勢をとることができず、排便を容易にする技術や管理に介助が必要
0 全介助	排便コントロールできない、便失禁がある

排尿管理

10 自立	必要に応じて内服やパッドの装着などをしながら日中・夜間問わず自立し、ほとんど失禁がない
8 最小限の介助が必要	概して日中・夜間問わず問題ないが、時々失禁がある または、内服やパッドの装着に最小限の介助が必要
5 ある程度の介助が必要	概して日中は問題ないが、夜間は失禁があり、パッドなどの使用が必要
2 自分で試みるが大幅な介助が必要	内服やパッドなどを使用しているが失禁がある
0 全介助	尿コントロールできない、尿失禁がある、バルーンカテーテル使用

椅子やベッドへの移乗動作（手すり 有 無 ）

15 自立	車椅子からベッドに安全に移乗することができる 必要に応じて手すりなどを使用し、安全に立ち上がり座ったりできる
12 最小限の介助が必要	移乗先に安全に近づき、ブレーキをかける、フットレストをあげる、ベッドへの移動、腰掛け、 ベッドサイドでの座位姿勢、車椅子での姿勢の変換、椅子に戻る、など全て安全にできる
8 ある程度の介助が必要	移乗先との適切な距離の取り方への手助け、立ち・座りなどに安全のための見守りが必要
3 自分で試みるが大幅な介助が必要	移乗動作のいくつかの局面で1人の介助が必要
0 全介助	移乗動作に参加するが、1人の介助者による全行程での介助が必要
0 日常行わない・行う必要がない	全く自分でできない、機器の使用の有無にかかわらず2人の介助者が必要

移動

<歩行>

15 自立	必要に応じて装具を装着して、立ち・座り・必要な歩行器の使用が可能 杖・歩行器を使用して介助や見守りなく50メートル以上歩くことができる
12 最小限の介助が必要	介助や安全のために見守りが必要だが、50メートルの歩行は可能
8 ある程度の介助が必要	歩行器や杖等を持ってきたり、歩行操作するのに介助が必要
3 自分で試みるが大幅な介助が必要	歩行中、常に1人以上の介助者が必要
0 全介助	歩くことができない

→<歩行>が全介助「0」で、椅子移動もしくは車椅子操作を練習しているときのみ下記<車椅子>にて評価

<車椅子>

5 自立	自立して車椅子を駆動・操作できる 角を曲がる、方向転換、テーブル椅子やベッド、トイレなどにつくための細かい操作が可能 少なくとも50メートル以上車椅子をこぐことができる
4 最小限の介助が必要	普段の生活で出くわす地形であれば自分で継続してこぎ、操作できる 狭い曲がり角などでは最小限の介助や見守りが必要
3 ある程度の介助が必要	テーブル椅子やベッドにつくための車椅子操作のために、常に1人の介助が必要
1 自分で試みるが大幅な介助が必要	短距離や平坦な場所では自力でこぐことができるが、すべての場面で介助が必要
0 全介助	車椅子移動が自分でできない

合計

/100